

平成19年度 川崎市生活文化会館（てくのかわさき）の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人 神奈川県労働福祉協会 (横浜市中区寿町1丁目4番地)
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・技能に関する資料等の収集及び提供、技能水準の向上を図るための研修会・講演会等の開催及び技能への理解を深めるための行事の開催に関すること。 ・施設及び設備の利用許可に関する業務、その他生活文化会館の管理のために必要な業務に関すること。

2 事業執行（管理運営）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
<p>(1) 管理運営業務の実施状況</p> <p>施設の管理に関する業務</p> <p>技能に関する資料等の収集及び提供に関する業務</p> <p>技能水準の向上を図るための研修会・講演会等の開催に関する業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の日常点検・定期点検、清掃業務・環境衛生業務、警備・空調等の管理業務等に対して適正な管理を実施した。 ・技能の振興に理解と熱意があり、技能の伝承や啓発に関する講習会・研修会・各種行事等の企画立案や実施が出来る人材の配置を行い、会館職員間の情報の共有化を図るため、毎月第3月曜に職員会議を実施した。 ・川崎市技能職団体連絡協議会に関する情報の収集並びに市民からの要望に対し必要な情報の提供を行った。 ・技能職団体による「お肉屋さんが教える料理教室」を始めとした各種講習会を16事業実施し、その実施にあたっては、市内公共施設内に設置されている行政資料コーナーヘチラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に記載している項目を踏まえて適正に維持・管理が行われている。20年度も市民（利用者）の視点に立って、質の高い業務及び効率的な管理を図るとともに、不特定多数の市民が利用する施設であるので、安全の確保などについてもより一層の配慮を行うこと。 ・会館の事業目的を踏まえ、技能に関する資料等の収集及び提供に努めている。今後も利用者のニーズを積極的に把握し、事業の推進を図ること。 ・会館の事業目的を踏まえ、研修会・講演会等の開催支援に努めているが、今後は、さらに多くの職種・団体に

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
<p>技能への理解を深めるための行事の開催に関すること。</p>	<p>シを送付し、募集事務に関する支援を行った。</p> <p>(1) 技能フェスティバル(9月30日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民と技能職者とのふれあいを通して、技能を尊重する社会の形成や技能の振興に寄与することを目的に開催した。 ・ 開催日当日は、生活文化会館の全館を使用し、「ものづくり体験」や「技能職者の技術」を披露し、技能に対する理解の深化を図った。 <p>(2) 「てくのまつり」(3月16日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「さらに“てくのかわさき”を知ってもらおう」を開催テーマに「てくのかわさき」を活動拠点としている団体の日頃の成果を発表する場として、また、会館が技能職団体の拠点施設であることを広く周知することで、技能振興及び技能職者と市民の交流を図るため開催し、約1,170名の来場者があった。 ・ 利用11団体による絵画展、フラダンス実演、陶芸展などを実施した。また、技能職団体(5団体)による「ものづくり体験」や「作品の販売」を実施した。さらには、かわさきマイスター(12人)による作品展示並びに「ものづくり体験」を実施した。 <p>(3) 自主事業(教室)として16事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリザーブドフラワーアレンジメント教室(5回開催) ・ そば打ち体験教室 ・ おとこの料理教室 ・ プロから学ぶペンキ塗りのコツ ・ パン焼き教室 ・ フラワーアレンジメント講習会 	<p>呼び掛け、幅広く多様な研修会・講演会等の開催に努めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実行委員会にはオブザーバーとして参加し、技能フェスティバルの開催に向けて取組みに努めた。今後は、日常生活の中で市民の目に触れにくい業種(旋盤、情報処理など)についても視野に入れて、市民との交流の拡大に努めること。 ・ 技能振興や市民との交流を図るなど開催目的の達成に努めた。また、集客方法に重点を置いて開催した結果、天候に恵まれたことも手伝って、昨年度と比較して、来場者数も増加した。今後は、来場者数の増加を持続させるために、市民への広報活動をさらに充実させるとともに参加団体の多様化を図るために十分な調整を行うこと。 ・ 市民を対象とした実用性の高い多種類の事業を実施した。今後も利用者懇談会などを活用して、利用者のニーズを的確に反映した魅力的な自主事業の開催に努めるとともに、確実な定員確保を図るた

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																								
	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロから学ぶきもの着付け教室 ・ お肉屋さんが教える料理教室 ・ 健康体操教室（2回開催） ・ やさしいフラダンス入門 ・ やさしいパソコン教室 	<p>めに様々な広報媒体を積極的に活用するなど、広報手段については十分な検討を行うこと。また、人気のある事業については、施設の空き状況も考慮して、ステップアップ講座の開催など事業実施件数の増加を検討すること。</p>																								
(2) 利用状況	<p>ホール：67.0%（目標58.1%） 研修室：64.6%（目標57.7%） 会議室：33.1%（目標32.3%） 実習室：27.8%（目標26.8%） 和室：56.0%（目標56.4%） 談話室：62.4%（目標56.4%） 展示場：19.5%（目標18.0%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会館全体では、利用率の目標値をほぼ上回っており一定の評価はできる。 ・ 今後も、実習室・展示場の利用率の向上を図ると共に、会館全体の利用率の更なる向上に努めること。 																								
(3) 収支状況	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">収入金額</td> <td style="text-align: right;">70,216,018 円</td> </tr> <tr> <td> (1)指定管理収入</td> <td style="text-align: right;">45,519,000 円</td> </tr> <tr> <td> (2)事業収入他</td> <td style="text-align: right;">21,685,301 円</td> </tr> <tr> <td> (3)前期繰越金</td> <td style="text-align: right;">3,011,717 円</td> </tr> <tr> <td>支出金額</td> <td style="text-align: right;">67,739,420 円</td> </tr> <tr> <td> (1)人件費</td> <td style="text-align: right;">35,034,249 円</td> </tr> <tr> <td> (2)事業費</td> <td style="text-align: right;">1,138,857 円</td> </tr> <tr> <td> (3)施設管理費</td> <td style="text-align: right;">28,344,011 円</td> </tr> <tr> <td> (4)事務経費</td> <td style="text-align: right;">210,586 円</td> </tr> <tr> <td> (5)繰出金</td> <td style="text-align: right;">3,011,717 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">（経営安定資金特別会計）</td> </tr> <tr> <td>次期繰越収支差額</td> <td style="text-align: right;">2,476,598 円</td> </tr> </table>	収入金額	70,216,018 円	(1)指定管理収入	45,519,000 円	(2)事業収入他	21,685,301 円	(3)前期繰越金	3,011,717 円	支出金額	67,739,420 円	(1)人件費	35,034,249 円	(2)事業費	1,138,857 円	(3)施設管理費	28,344,011 円	(4)事務経費	210,586 円	(5)繰出金	3,011,717 円	（経営安定資金特別会計）		次期繰越収支差額	2,476,598 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料等の事業収入が当初予算額を大幅に上回っており、評価できる。 ・ 今後も高い利用率を維持することによる、利用料金収入の維持と、利用者への支援レベルを維持しながら、経費節減に努めること。
収入金額	70,216,018 円																									
(1)指定管理収入	45,519,000 円																									
(2)事業収入他	21,685,301 円																									
(3)前期繰越金	3,011,717 円																									
支出金額	67,739,420 円																									
(1)人件費	35,034,249 円																									
(2)事業費	1,138,857 円																									
(3)施設管理費	28,344,011 円																									
(4)事務経費	210,586 円																									
(5)繰出金	3,011,717 円																									
（経営安定資金特別会計）																										
次期繰越収支差額	2,476,598 円																									
(4) その他 利用者からの意見・要望等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年に2回開催している利用者懇談会やアンケート結果をもとに、利用者からの意見、要望等の確認を行い、施設管理運営や、各種講座へ反映させた。 ・ 毎回、荷物の搬出入が大変なので、預かってもらえないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者からの意見、要望が、施設管理等へ反映されており、評価できる。 ・ 今後も、意見要望への対応を行うことにより、より良い施設運営 																								

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
個人情報の保護	<p>平成19年10月から無料で利用できるロッカーを設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふれあいネット」管理者端末の操作を行うため、取扱いについてはすべての法令等を遵守するとともに、善良な管理者としての注意を払い、いかなる理由によっても情報を漏らさないよう職員教育等必要な措置を講じた。 	<p>を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護については、その重要性を十分認識し、対応しているため、評価できる。

3 事業執行（管理運営）に対する全体的な評価

- (1) 指定管理者である財団法人神奈川県労働福祉協会は、指定管理2年度目の19年度は、「さらに“てくのかわさき”を知ってもらおう」をテーマに掲げて「てくのまつり」を開催するなど、この間の「てくのかわさき」の事業実績を踏まえながら技能職者と市民との交流促進及び市民相互の交流拠点づくりを進めるため、技能振興に貢献する事業の企画・開催や施設の管理業務等を遂行している。
- (2) また、19年度の収入状況は目標額を達成しており（103.3%）、利用率についても平均で46.7%となっており目標利用率（43.6%）を僅かながらではあるが、上回っている。
- (3) ただし、多目的に利用しやすい会議室や研修室の利用率が18年度と同様に比較的高い水準を保っていることに比べて、利用目的別に設けられている実習室や展示場の利用率が平均値を引き下げており、技能会館としての施設性格を保持しながらもどのようにして利用率の向上を図ってゆくかということが大きな課題となっている。
- (4) 一方、19年度における生活文化会館の管理運営については、建物自体が昭和40年代に建築された区役所庁舎を改修して開設された会館であるがゆえに、利用者からの意見等は施設設備に関連する事項に集約されがちではあったが、指定管理者の会館運営に対する実績経験が適切に活かされ、利用者懇談会への対応や利用者への職員対応が円滑に行われたことなどにより、評価することができる。
- (5) これらの結果、指定管理者による管理運営への切換えと新たな会館運営体制の確立は概ね順調に行われている。

4 平成20年度の事業執行（管理運営）に対する指導事項等

指定管理3年度目を迎える20年度も、これまでと同様に、「てくのまつり」の開催や「てくのフェスティバル」への参画を積極的に進めることで、生活に根ざした文化である技能に対する市民の理解を一層深めていくとともに技能職者相互の交流及び技能水準の向上を図り、技能を尊重する社会の形成や技能の振興及び促進に寄与する拠点となるように会館の運営管理に努めること。

また、利用者等のニーズを的確に把握することで魅力ある自主事業を数多く企画・実施するとともに、交通の利便性を活かし、利用者との協働運営の推進による講座の企画・実施に取り組むことで利用率の向上に努めること。